

# 食品に関するリスクコミュニケーション（東京）

## 重金属と食品の安全性

### アンケート集計結果

開催日：2006年3月30日（木）

参加者数：123名 回答数：90名 回答率：73%

問1.あなたご自身のことや食品の安全性に関するお考えについてお聞きします。以下の設問について、それぞれあてはまるものを1つ選んで番号を で囲んでください

#### 性別

| 回答内容 | 件数 | 割合     |
|------|----|--------|
| 1.男性 | 60 | 66.7%  |
| 2.女性 | 29 | 32.2%  |
| 無回答  | 1  | 1.1%   |
|      | 90 | 100.0% |

#### 年齢

| 回答内容    | 件数 | 割合     |
|---------|----|--------|
| 1.20歳未満 | 0  | 0.0%   |
| 2.20歳代  | 8  | 8.9%   |
| 3.30歳代  | 12 | 13.3%  |
| 4.40歳代  | 17 | 18.9%  |
| 5.50歳代  | 36 | 40.0%  |
| 6.60歳代  | 14 | 15.6%  |
| 7.70歳代  | 3  | 3.3%   |
| 無回答     | 0  | 0.0%   |
|         | 90 | 100.0% |

#### 職業

| 回答内容   | 件数 | 割合     |
|--|----|--------|
| 1.消費者団体  | 8  | 8.9%   |
| 2.主婦、学生、無職   | 2  | 2.2%   |
| 3.生産者  | 0  | 0.0%   |
| 4.食品関連事業者  | 35 | 38.9%  |
| 5.マスコミ   | 0  | 0.0%   |
| 6.行政   | 20 | 22.2%  |
| 7.食品関連研究・教育機関  | 17 | 18.9%  |
| 8.その他  | 8  | 8.9%   |
| 製造業(1) 石油化学メーカー 環境担当(1)<br>弁護士(1) 研究機関民間(1) ダイオキシン、<br>環境ホルモン対策国民会議(1) ISO審査員(1)<br>公益法人(1) 食品以外の研究機関(1) |    |        |
| 無回答  | 0  | 0.0%   |
|  | 90 | 100.0% |

#### 本日の意見交換会開催をどこでお知りになったか

| 回答内容   | 件数 | 割合   |
|--|----|------|
| 1.食品安全委員会のホームページ   | 37 | 41%  |
| 2.食品安全委員会からのご案内資料  | 17 | 19%  |
| 3.関係団体からのご案内資料   | 16 | 18%  |
| 4.知人からの紹介  | 7  | 8%   |
| 5.新聞、ポスター、チラシ  | 0  | 0%   |
| 6.その他  | 10 | 11%  |
| 農水省からのメールマガジン(1) 食の安<br>全安心メールマガジン(1) 農水、厚労の<br>ホームページ(1) 国民会議より(1) 農<br>水省からのメールで(1) メールマガジン<br>(1) ケミマガ みづほ総研?(1) 環境<br>省からの誘い(1) 業界新聞(1) 農水技<br>術センターのメルマガ(1) |    |      |
| 無回答/無効回答   | 3  | 3%   |
|  | 90 | 100% |

### 本日の意見交換会に参加された動機

| 回答内容                                  | 件数 | 割合     |
|---------------------------------------|----|--------|
| 1. 重金属と食品の安全性についての情報を収集するため           | 64 | 71.1%  |
| 2. 外国での重金属についての研究に興味があったから            | 4  | 4.4%   |
| 3. 専門家に直接意見を言いたかったから                  | 2  | 2.2%   |
| 4. 教務の一環として参加する必要があるから                | 4  | 4.4%   |
| 5. 政府の行うリスクコミュニケーションの取組について知るため       | 10 | 11.1%  |
| 6. その他<br>業務命令(1)<br>専門家の話しを聞きたかった(1) | 2  | 2.2%   |
| 無回答/無効回答                              | 4  | 4.4%   |
|                                       | 90 | 100.0% |

### 「100%安全な食品はない」について、あなたはどのように思われますか

| 回答内容         | 件数 | 割合     |
|--------------|----|--------|
| 1. 強くそう思う    | 60 | 66.7%  |
| 2. ややそう思う    | 21 | 23.3%  |
| 3. あまりそう思わない | 1  | 1.1%   |
| 4. 全くそう思わない  | 4  | 4.4%   |
| 5. わからない     | 0  | 0.0%   |
| 無回答          | 4  | 4.4%   |
|              | 90 | 100.0% |

問2. 本日の意見交換会の実施方法についてお聞きします。それぞれあてはまるものを選んで番号を で 囲んでください。

#### 意見交換会開催時期

| 回答内容         | 件数 | 割合   |
|--------------|----|------|
| 1. とても適切だった  | 6  | 7%   |
| 2. 適切だった     | 56 | 62%  |
| 3. あまり適切ではない | 19 | 21%  |
| 4. 全く適切ではない  | 2  | 2%   |
| 無回答          | 7  | 8%   |
|              | 90 | 100% |

#### 開催方法（参加手続き・場所・所要時間）

| 回答内容         | 件数 | 割合   |
|--------------|----|------|
| 1. とても適切だった  | 12 | 13%  |
| 2. 適切だった     | 67 | 74%  |
| 3. あまり適切ではない | 6  | 7%   |
| 4. 全く適切ではない  | 1  | 1%   |
| 無回答          | 4  | 4%   |
|              | 90 | 100% |

#### 配布資料

| 回答内容         | 件数 | 割合   |
|--------------|----|------|
| 1. とても適切だった  | 7  | 8%   |
| 2. 適切だった     | 58 | 64%  |
| 3. あまり適切ではない | 20 | 22%  |
| 4. 全くわからなかった | 1  | 1%   |
| 無回答          | 4  | 4%   |
|              | 90 | 100% |

#### 専門家による講演

| 回答内容           | 件数 | 割合   |
|----------------|----|------|
| 1. とてもわかりやすかった | 4  | 4%   |
| 2. わかりやすかった    | 47 | 52%  |
| 3. わかりにくかった    | 32 | 36%  |
| 4. 全くわからなかった   | 3  | 3%   |
| 無回答            | 4  | 4%   |
|                | 90 | 100% |

### 意見交換時の応答

| 回答内容          | 件数 | 割合   |
|---------------|----|------|
| 1.とてもわかりやすかった | 11 | 12%  |
| 2.わかりやすかった    | 50 | 56%  |
| 3.わかりにくかった    | 11 | 12%  |
| 4.全くわからなかった   | 0  | 0%   |
| 無回答           | 18 | 20%  |
|               | 90 | 100% |

### 意見交換会全体

| 回答内容       | 件数 | 割合   |
|------------|----|------|
| 1.評価する     | 21 | 23%  |
| 2.おおむね評価する | 41 | 46%  |
| 3.あまり評価しない | 11 | 12%  |
| 4.全く評価しない  | 0  | 0%   |
| 無回答        | 17 | 19%  |
|            | 90 | 100% |

問3.以下の食品安全委員会の取組のうち、ご存知のものあるいは利用したことのあるものを全て選んで、をつけてください。

| 回答内容   | 件数  | 回答者数<br>に対する<br>割合 |
|--|-----|--------------------|
| 1.委員会、専門調査会の傍聴が可能なこと（原則公開されていること）  | 58  | 64%                |
| 2.食品安全委員会ホームページ<br>( <a href="http://www.fsc.go.jp">http://www.fsc.go.jp</a> ) | 75  | 83%                |
| 3.食の安全ダイヤル(食品の安全性についての情報やお問合せ、ご意見を受付ける窓口)                                      | 26  | 29%                |
| 4.食品安全モニター制度   | 36  | 40%                |
| 5.季刊誌『食品安全』  | 40  | 44%                |
| 6.食品の安全性に関する政府広報   | 30  | 33%                |
| 7.その他  | 0   | 0%                 |
| 無回答  | 5   | 6%                 |
|  | 270 | -                  |

問4.今後食品安全委員会の行う意見交換会で取り上げて欲しいテーマはありますか。当てはまるものを3つまで選び、をつけてください。

| 回答内容  | 件数  | 回答者数<br>に対する<br>割合 |
|---|-----|--------------------|
| 1)残留農薬  | 42  | 47%                |
| 2)食品添加物   | 26  | 29%                |
| 3)食品中に存在する汚染物質・化学物質   | 41  | 46%                |
| 4)遺伝子組換え食品  | 21  | 23%                |
| 5)動物用抗菌性物質（いわゆる抗生物質）  | 20  | 22%                |
| 6)BSE   | 10  | 11%                |
| 7)有害微生物・ウイルス  | 20  | 22%                |
| 8)かび毒   | 14  | 16%                |
| 9)新開発食品   | 26  | 29%                |
| 10)リスクコミュニケーション   | 10  | 11%                |
| 11)その他<br>生体内での重金属の残留と濃縮(1)<br>健康食品(1) 放射線照射の安全性(1)<br>日本の伝統的食材の利とリスク(1) 硝酸塩(1) | 5   | 6%                 |
| 無回答   | 4   | 4%                 |
|   | 239 | -                  |

問5. 上記で選択したものを含め、会全体を通してご意見や感想がございましたらご記入下さい。

|    |   |
|----|---|
| 1  | ウイルス性胃腸炎or感染症としてのウイルス病の知見   |
| 2  | イソフラボンの摂取量（目安量）の公表のように、知識のない一般の人に誤解を与えるような、公表の任務は、疑問である（大豆食品は古来より日本人が食してきた伝統的食品である）。もう少し、丁寧に説明されたら良いと思う。又、もう少し専門家を委員に選んで多めに議論し、結論をだして頂きたい。<br>イソフラボンの人体に対する機能性発揮量は、それぞれの疾患予防に対して異なる。  |
| 3  | 重金属の毒性の議論が中心であったが、一方、微量の重金属類の動植物の生長等への必須性の見方もあると聞く。このような観点の意見もオープンになれば重金属類に対する見方もまったく変わったものになるのではと感じます。   |
| 4  | 専門家の話を聞く事ができ面白かった。が、リスクコミュニケーションの形式の一つとしてはこの形式「学習」はあるかもしれませんが、あまりに専門的過ぎて、学会の様でした。正しい情報を現在の知見でお伝え下さる努力の結果でしょうか。しかし、伝える努力は少し工夫して下さい。  |
| 5  | 佐藤先生が講演の要点をまず、押さえてくださり、後の質疑応答がたいへんわかりやすかったです。   |
| 6  | リスクコミュニケーションは、誰と誰との？専門家と一般市民・消費者とのリスコミであれば双方からの意見提起で、消費と市民生活にもっと根づいたリスコミ、そこから、方向を探るのがのぞましい。   |
| 7  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・農薬・添加物の必要性もリスコミして欲しい</li> <li>・作用機序等説明されても理解できないのではないかと（学会発表ではないので、平易に説明して欲しい）</li> <li>・本日はだれを対象にしたのか、今回のものは意図がわからない。</li> </ul>   |
| 8  | 今回のテーマがなぜ選ばれたのかは不明であるが、「時」のある話題について取り上げたほうが、参加者もふえるのでは？（例えば、アガリクスetc）積極的にこういった会を開いて欲しい。   |
| 9  | 食の安全基準がそのつど決められており、このままでは、食として使えるものがなくなってしまいそうである。  |
| 10 | 非常に興味深いお話をありがとうございました。ただ一点、日本の土壤には、CoIなどの重金属も多く、実際には、極端な例として、イタイイタイ病の様な例もあり、臨床的な情報を含めて、日本には重金属についての情報は、本来多い筈です。が、不思議な事に、日本人は、少し前までは、骨の病気が少なかったのでは？その点から、もっと、重金属と食材（例えば、海藻'60-'70以降、研究があまりなされていない様ですが）という点にスポットをあて、昔の日本人は、どの様に、この日本に合った食というもので、このリスクをのりきってきたのか、メタアナリシスでも、検討し、それを含めた、リスクコミュニケーションを行ってゆくのも、食育等との含目性を含めて良いのではないかとと思いますが、いかがでしょうか？ |
| 11 | 行政（日本）の考え方いっしょにあるといい  |
| 12 | 議論の時間が少ない   |
| 13 | 現在、食品のpb、As、PCB、Hg、Cdについて調べています。データが少ないものが有り苦労しております。こん回の両先生のお話で、Hg、Cdへのことが、少し分かったかなと云った所です。又、機会がありましたら参加したいです。   |
| 14 | もう少し、業務的な内容の話題があってもよかったです。例えば、食品の重金属の汚染の実体（食品名、地域、重金属）  |
| 15 | 講演者の研究レベルがいくら高いものであっても、一般の人が参加するリスクコミュニケーションに外国語を使う演者はどうかと思う。同時通訳があってもやはり聞きにくい。一般の人のレベルに合わせていないのではないかと。   |
| 16 | Cd、Hg、メタリチオネインの話でスウェーデンからわざわざ呼んだのか不審なおもいです。日本人の良いお話ができる人は随分いるのではと思いますが、（政治的な意図ですか）。場所も大変ぜいたくな場所で、それらの費用はリスクコミュニケーションの機会を増やすことに使用して欲しいです   |
| 17 | 意見交換の時間ももっと長くてもよいのでは・・・この時間の説明で理解を深めたものが多かった。参考になった。  |
| 18 | 海外の一流の研究者の講演を直に聴講できたのは大変良かった。しかし内容がハイレベルで、専門でない、一般の参加者はよく理解できなかったであろうから、この種のリスコミを開催するのであれば、事前に内容程度（レベル）対象がどの人向けなのかの情報が事前にあるとよいと思った。   |
| 19 | 問題はなにかが判明しない。なにを問題にしなければならぬかがわからなかった。重金属（食品における）等についてはよくわかった。   |
| 20 | 講演の内容はとてもよく分かりやすかったが、理解するには難しいものがありました。<br>テーブルがあったことはとても助かりました。<br>年度末ではなかなか参加が大変なので、できればこの時期ずらして頂けるとありがたいです。  |
| 21 | 予告時にもう少し詳しい資料があると嬉しい。とても勉強になりました。ありがとうございました！   |

|    |   |
|----|---|
| 22 | 食品と重金属と言うテーマはよかった。先生もよかった。とりあげる金属数が少ないのが残念だった。このアンケートがあまりよくない。何を聞きたいのかわからない部分がある。   |
| 23 | 興味深いお話であったが、テーマとはそぐわなかったように思う。もっと「重金属と食品の安全性」に沿った情報提供を行って欲しいと思いました。広く一般的な知識としては有用でした。又、Hgの食品安全委員会の評価について、見解も聞くことができよかったと思います。 |
| 24 | 今回の話はとても専門的で難しかった。この専門的な話をより、日常の食生活に引きよせるための具体的な話も、聞きたかった。食べ方などで影響があるのかなど。  |
| 25 | 現在厚労省で対応を苦しんでいる 農薬等ポジティブリスト制と容器由来のSEMの関係とかあり、日本もFDAの如く容器食材用の添加物（間接添加物）をポジティブリスト化したらいいかなものか。よしなに。                              |
| 26 | 今回参加申込をした者に対しては次回の案内を直接にして欲しい。  |
| 27 | 演者の時間不足が気になりました。  |